

「奥能登国際芸術祭2020+」 出展作品  
〈海をのぞむ製材所〉を舞台に誕生した家具  
『NOTOSUGI』  
2021年10月1日 (金)より発売開始



photo Takumi Ota

能登半島最先端の地・石川県珠洲市で、2021年9月4日 (土) より11月5日 (金) まで開催中の「奥能登国際芸術祭2020+」。本芸術祭の出展作品〈海をのぞむ製材所〉を舞台に誕生した家具シリーズ『NOTOSUGI』(ノトスギ) を10月1日 (金) より発売開始します。

『NOTOSUGI』は、珠洲市の海沿いに佇む「新出製材所」に魅せられて結成した『Noto Aemono Project』(ノト アエモノ プロジェクト) が手掛けました。本プロジェクトは、現在も稼働中の「新出製材所」に海と山をつなぐ風景をつくり、絶景の休憩所へと改築した作品 〈海をのぞむ製材所〉を「奥能登国際芸術祭2020+」に出展しています。出展の準備を進める中で、「新出製材所」が歩んできた歴史をはじめ、地域木材の利用減少による自然環境への影響や街・人との繋がりの希薄化など、地域が抱える問題に直面し、地域材の循環を目的とした家具を製作。デザインソースとして珠洲の家々の外壁面を構成し、美しい街並みを作りだしている「下見板\*」を参照し、製材所に貯蔵されていた木材を用いた8種から成るテーブルとベンチのシリーズ『NOTOSUGI』を発表しました。『NOTOSUGI』は、出展会場内での配置に加え、一般販売も行うことにより、継続的に地域の山と海、人と暮らしの繋がりを見つめ続けていきます。

下見板\*：木材の上下の端を少しずつ重なり合うように取り付けられた板。雨風の侵入を防ぎやすいため、木造建築の外壁に活用され、珠洲市内の建物でも多く用いられています。



### A TABLE | ア テーブル

Design : Nami Makishi

A TABLE 400	
W2000×D385×H720	¥86,900
A TABLE 600	
W2000×D580×H720	¥96,800
A TABLE 800	
W2000×D775×H720	¥105,600



### A BENCH | ア ベンチ

Design : Nami Makishi

A BENCH 500	
W500×D255×H420	¥35,200
A BENCH 1000	
W1000×D255×H420	¥41,800
A BENCH 1500	
W1500×D255×H420	¥49,500
A BENCH 2000	
W2000×D255×H420	¥60,500



### SOLO TABLE | ソロテーブル

Design : Shinji Okawara

W550×D335×H720	¥39,600
----------------	---------

photos Takumi Ota

- \*全アイテム：素材 / 能登産杉 仕上 / 素地仕上 納期 / ご注文後 約2ヶ月
- \*価格は全て税込価格（配送料別途）
- \*＜海をのぞむ製材所＞会場もしくは公式サイト (<https://aemono-shop.com>) よりご注文いただけます。

#### <特性について>

珠洲市は冬でも高湿度な地域に位置するため、通常家具に使用される木材よりも高い含水率の木材を商品加工しています。ご使用環境により大きな反りや伸び縮みが生じる場合がありますが、天然木材ならではの経年変化を愛でながらご使用ください。ご購入後の木の伸縮対処方法などもご提案しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

海沿いに建つ「新出製材所」に魅せられ、結成されたチーム。素材生産者・職人・デザイナー・建築家が本音で向き合い商品開発をする「aemono project」が、沖縄・東京・珠洲に住むデザイナー・職人と手を組み、製材所を舞台に作品を制作。佇まいに惹かれたことをきっかけに知った、製材所の歴史。かつて地域の森で育まれた木を建築材として街へ届けていたものの、近年地域の木材が使われることが減り、街や人との繋がりが薄らいでいること。珠洲の木が使われなければ、山は荒れ、山に繋がる、川、海、里山の豊かさが損なわれること。そこで、地域材の循環という観点から、製材所に貯蔵されていた木材を用いて家具を製作し、海を前に佇む製材所に配置しました。そして、家具を媒介とし、山と海、人と暮らしの繋がりを見つめていきます。

### <Project Member>



プロジェクトリーダー

神 梓 | Azusa Jin (SOLO)

1978年 青森県生まれ。筑波大学芸術専門学群建築デザインコース卒業。株式会社イノウエインダストリーズに13年間勤務。建築設計事務所が設計する特注家具やアートを中心に製作管理を担当。2015年～素材生産者・職人・デザイナー・建築家が既存の役割を超え、ホッペで話しあい商品を開発するaemono projectを開始。国内各地で活動を展開している。



製材

新出 利幸 | Toshiyuki Shinde (新出製材所)

1979年 石川県珠洲市生まれ。石川県立水産高等学校 小木分校無線通信科を卒業。会社員として約4年間東京にて生活。2001年故郷へ戻り、両親と共に新出製材所にて働く。2008年にワーキングホリデーにてオーストラリア・メルボルンに滞在。現在は珠洲市と金沢市の2拠点にて3人娘の父として生活する。



家具デザイン

真喜志 奈美 | Nami Makishi (Luft)

1966年 沖縄県生まれ。武蔵野美術大学工芸工業デザイン科卒業。ベルリン国立芸術大学大学院彫刻科での学生生活、ソウルでのデザイン事務所勤務を経て、1999年にソウルにてデザイン事務所を設立。2003年に帰国、Luftを設立し、国内での活動を開始。現在は沖縄を拠点に、空間、家具、プロダクトまで、多岐にわたるデザインを展開している。



空間デザイン

大河原 慎史 | Shinji Okawara (SOLO)

1971年 兵庫県生まれ。神戸芸術工科大学環境デザイン学科卒業。株式会社青木淳建築計画事務所に勤務。遊水館（市民プール）などを担当。その後、シーラカンスK&Hに勤務。ベイ・ステージ下田（博物館）などを担当。2001年有限会社SOLOを設立。企業や商品のプロモーション空間、店舗、住宅、オフィスなど様々な設計活動を行う。



家具・作品製作

辻口 洋史 | Hiroshi Tsujiguchi (Suzu Woodworking Studio)

1988年 石川県津幡町生まれ。石川工業高等専門学校建築科卒業後、桑沢デザイン研究所でインテリアデザインを学ぶ。横浜市で造作家具の製作を経験した後、ドイツと加賀市の工房で無垢材家具の製作に携わる。2016年に珠洲市へ移住。移住後は林業に従事しながら家具製作を継続し、2021年にSuzu Woodworking Studio設立。木の伐採から家具製作まで一貫して携わる事のできる職人を目指している。



映像製作

今井 豊 | Yutaka Imai (Suzutama Creative Factory)

1975年 東京都生まれ。高校卒業後、映画学校へ行き、二十歳で渡米。大学で映画とグラフィックデザインを学ぶ。アメリカで6年半暮らした後に帰国し、東京のデザイン会社に勤務。2009年珠洲市へ移住。2011年すずたまクリエティブファクトリー設立。地域をデザインの力でささえる事、「地域+デザイン、地域デザイナー」として活動している。

作品解説：

鳥居 由佳

おむすび製作・販売

大倉千枝子

「山と海をつなぐ」をテーマに、小泊地区の海に面した気持ちのよい場所に位置し、約70年稼働し続ける「新出製材所」の価値を再発見するプロジェクト。展示期間中のみ製材所の壁を透明なアクリル壁に変え、新たに誕生した『NOTOSUGI』や製材所に貯蔵していた古い木材を海面の延長となるよう配置することにより、山と海をつなぐ風景を有する絶景の休憩所を作り上げました。会場内では、「新出製材所」の創業者 新出 幸雄が能登の森・木材・製材の現状を語る映像も展示し、地域材の循環と向き合い続ける製材所の“現在までの歩み”と“未来”を感じられる空間が広がります。

<海をのぞむ製作所>

会場 新出製材所 (住所 / 石川県珠洲市三崎町小泊16部27番地の4)

日時 2021年9月4日(土) - 10月24日(日) 9:30 - 17:00 (定休日: 木曜日)

WEB <https://oku-noto.jp/ja/artist11.html>

\*「奥能登国際芸術祭2020+」は11月5日(金)まで開催しておりますが、本作品は10月24日(日)で展示を終了いたします。



photos Takumi Ota

10月9日(土)・10日(日)には、東京を拠点に活動する「おむすびまるさんかく」のおむすびまるさんかく弁当を販売します。山と海が繋がる風景を見ながら、厳選した地域食材で作ったおむすびをお楽しみください。

販売日時 10月9日(土)、10日(日) 11:00~

価格 ¥1,000円(税込) \*1日50食限定、完売次第終了



イメージ画像

奥能登国際芸術祭2020+

奥能登・珠洲市を舞台に開催される、さいはての芸術祭。新型コロナウイルスの影響により2020年秋の会期より延期となり、「奥能登国際芸術祭2020+」と改め、2021年9月4日(土)より11月5日(金)まで開催。16の国と地域から53組のアーティストが参加し、珠洲の10つのエリアを会場に珠洲の自然や歴史、伝統文化を表現した最涯と最先端が響き合う現代アートを展示しています。

WEB <https://oku-noto.jp>

読者 お問い合わせ先:

Noto Aemono Project (担当: 神 梓 しん あずさ)

TEL: 03-6276-4023 (有限会社SOLO内)

Mail: [aemono@solosolo.co.jp](mailto:aemono@solosolo.co.jp)

プレス お問い合わせ先:

HOW INC.

TEL: 03-5414-6405

MAIL: [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp)